

患者さんへ
疫学研究「和歌山市における心肺蘇生の実施を望まない傷病者に対する
プロトコルの運用実態と課題」
へのご協力のお願い

1. 研究の概要

1) 研究の背景及び目的

慢性疾患を患った高齢者や現代の医療では治療不可能な疾病を持った患者が自身の意思表示として人生の最終段階に心停止状態となった時に心肺蘇生などを希望しないDo Not Attempt Resuscitation（以下、DNAR）という選択肢があります。この選択肢は患者の意思を最大限尊重するものですが、一方でDNARの意思表示があっても、救急隊は蘇生行為を行いつつ病院に搬送しなければならない制約があり、望まぬ蘇生行為がなされること、不必要な医療資源を投与されることになり、医療コストの面でも非合理的な面がありました。

そこで、和歌山県救命救急協議会において、令和5年11月20日に「心肺蘇生の実施を望まない傷病者に対するプロトコル」が策定されました。本プロトコルは事前の患者の意思表示、家族の同意、かかりつけ医の心肺蘇生を行わないことに関する同意という3点の確認が取れた場合に限り、救急隊は蘇生行為を中止し、病院に搬送することなくかかりつけ医に以後の対応を引き継ぐことが出来るというものです。望まぬ蘇生行為の中止に加えて、現場活動時間の短縮に繋がることが予想されますが、どの程度活動時間が短縮されるかは不明であり、また運用上の課題も不明な部分があります。

今回、和歌山市消防における心肺蘇生の実施を望まない院外心停止患者を対象に背景因子や救急隊活動時間を検証し、安全性や時間短縮効果も検討することで当地域における本プロトコルの運用実態と課題を明確にし、今後の当地域での救急医療活動の質の向上に繋げていくことを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

運用実態とその課題を検討することで今後のより良い救急活動に繋がる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日までの間に和歌山市消防に入電があり、現場で対応を行った院外心停止患者で救急活動記録に何らかの形で DNAR 関連のワード（延命処置や積極的処置を望まない等）の記載がある患者を対象とします。

2) 研究期間

当院の倫理委員会承認後～2027 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記対象者に該当する方のデータを消防のデータベースから抽出し、提供を受ける形で行います。

4) 使用する情報

本研究に使用する情報として、下記の情報を用いますが、個人の特定が可能な情報（患者 ID、氏名、住所等）は用いず、データは匿名化された状態で提供を受けますので、個人を特定することはできません。

- ・ 年齢、性別、初期心電図波形、心停止の目撃の有無、bystander CPR の有無
- ・ 施設入所の有無、家族同席の有無、平日か休日か、日勤帯か夜勤帯か
- ・ 現場活動時間、総活動時間
- ・ DNAR を望んでいたにも関わらずプロトコール適用に至らなかった原因、適用例での問題点
- ・ 院外心停止患者全体の現場活動時間、総活動時間の平均値

また、研究成果は和歌山市消防との共有の他、学会や学術雑誌で発表することがあります。

5) 同意の撤回

もし上記期間中に和歌山市消防により院外心停止で対応された心当たりがある方及びその家族で本研究に上記情報を使用されることにご了承いただけない場合には不参加とさせていただきますので、お手数ですが下記までお問い合わせください。

また研究の詳細に関して知りたい方もお問い合わせください。

研究責任者：日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部 福島雅郁

問い合わせ先：日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話番号：073-422-4171（代表電話） 所在地：〒640-8558 和歌山市小松原通四丁目 20 番地